

第15回「良順教育賞」の授与式が執り行われました

令和5年3月8日（水）に第15回「良順教育賞」の授与式が本学医学部ポンペ会館で執り行われました。

ポンペと共に長崎大学医学部の創立者である松本良順の名を冠したこの賞は、医学教育で優れた実績を有する教員等に対し、その功績をたたえるもので、平成20年度に設けられ、今回が15回目の授与式となります。

今回受賞された、長崎大学 生命医科学域（肉眼解剖学）高村 敬子 准教授は、2013年の大学院生時代から現職の准教授期間に至る今日まで、一貫して継続してきた学部学生への解剖学教育や、カダバーサージカルトレーニング（CST）のシステム構築と実施において中心的役割を果たすなど、本学医学部における卒前・卒後の解剖学教育において多大な貢献を果たしてきました。

表彰を受けた高村准教授からは、受賞の喜びが伝えられたほか、今後もより一層医学教育に邁進したいとの言葉が述べられました。



医学部長から表彰状を授与される高村准教授



受賞の挨拶を述べる高村准教授



肉眼解剖学教室

（左から）

推薦者の弦本 敏行 教授

高村 敬子 准教授

佐伯 和信 講師